自主・創造

第２３号　令和８年１１月１８日(水)

柏原市立国分中学校　校長室だより

国分中学校研究発表大会より、お褒めの言葉をたくさん頂きました。

１１月６日（金）に行われた国分中学校の研究発表大会。生徒の皆さんには、協力してくれたことについて、改めて感謝しています。ありがとうございました。市内外から多くの先生方が来校し「やってみたい」で繋がる学校～誰一人取り残さない場所をめざして～をテーマに本校が取り組んでいる授業や行事などの教育活動の報告を行いました。



授業を参観された方からの意見を紹介します。（一部のみ紹介します）

▶班の仲間同士で、声をよく掛け合って全員で頑張ろうとしていた。

▸最近の生徒は、しんどいことを歯を食いしばって踏ん張ることができていないように感じることがあるが、国分の生徒は規律がしっかりできていると感じた。

▸生徒たちが前向きに取り組んでいた。「置きっぱなしをなくす」生徒会の取り組みや班活動など、日頃からの取り組みが実を結んでいると感じました。

▸どの授業も落ち着きがあり、生徒が安心して前向きな姿勢で受けていた。

▸やってみたい！と、生徒の意欲で繋がる魅力的な学校だと感じました。「かくれんぼ」は、縦割りの交流も深められて素敵ですね。

▸国中の生徒さんたちは、本当に素直で良い子が多いですね。

生徒発表・３年合唱を参観しての意見を紹介します。（一部のみ紹介します）

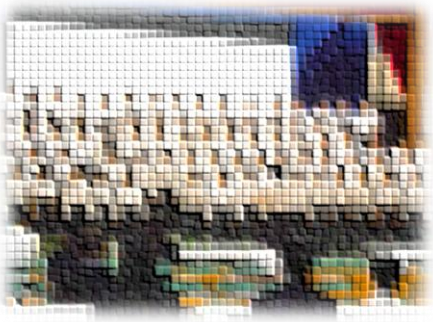
◎堂々と発表する姿。一人残らず全員が指揮者を見つめ合唱する姿がとても素敵でした。この ３ 年生の姿勢がそれを日頃から見ている 1, 2 年生に引き継がれていくのだなと感じた。

◎3 年生の合唱の歌声はもちろん素敵でしたが、入場してくるときから「自分たちの合唱を見てほしい！！」という気持ちが表情からも受け取れて、それも素敵だと思いました。学年のことを大切に思い、自分も学年の一員であるという意識をもった生徒が多いんだろうなと思います。

◎3 年生の合唱・整列の仕方も代々引き継がれていて感動しました。

◎生徒発表で、しっかりと言葉を紡いで発表している姿がとても頼もしく思えました。

◎一生懸命が当たり前。また、一生懸命がかっこいいであることを自覚していて、頑張っているなと思いました。素晴らしい３年生、ありがとう！！



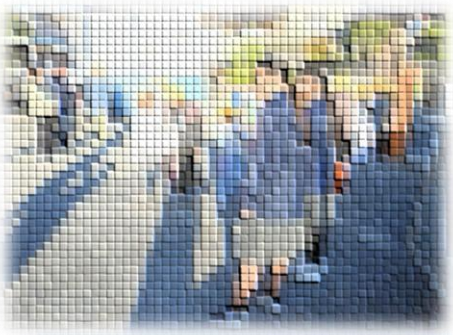
以上は、ほんの一部です。多くの励ましや温かいお言葉を頂きました。それらは全て、日頃から挨拶を大切にし、仲間を大切にし、授業を大切にしている皆さんへの評価です。

学校が安全で安心な場所であること、生徒同士、生徒と教師との信頼関係、全ての生徒にとって居場所でありつづけることを目指し、国分中学校の文化を次の学年へと継承していきましょう。



「仲間がいるからこそ頑張れる。だから学校がある」

第２回小中あいさつ運動＆赤い羽根募金活動について





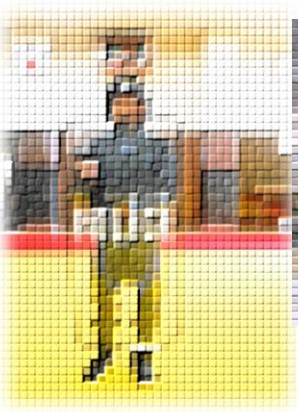
17 日（火）の朝の登校時間に合わせて、国分小学校の正門まで、生徒会執行部の皆さんと先生方が、児童会の児童たちと一緒になって活動を行っています。児童たちからは、飛び切り元気な「おはよーございます！！」の挨拶が返ってきます。あいさつは、正門前だけで行うものではありませんね。登下校中に出会ったときが、その時です。「笑顔と挨拶は１ＳＥＴ」

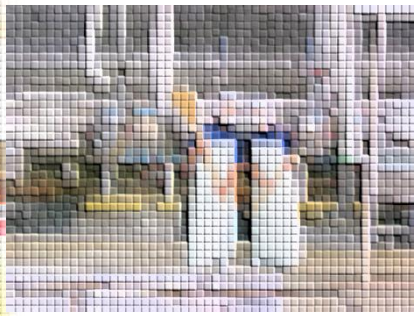
いつでも、どこでも、あいさつができることは、意外に難しいことです。国分中学校、そして国分小学校の伝統である「あいさつ」をこれからも大事にしてください。

１１月は「働く」ことについて考えてみましょう

11 月 23 日は「勤労感謝の日」です。『お仕事をすることを大切にし、生活に必要なものを作り出すことをお祝いし、みんなで「ありがとう」と感謝し合いましょう』という日です。

２年生は「職業体験学習」として、１２日（木）～１３日（金）の期間、３０の事業所に分かれて様々な体験活動を行いました。事前に打ち合わせに行かせて頂き、諸注意や事業所の役割、働くことについての心構えなどを直接教えて頂きました。参加した生徒たちからは充実した心地よい疲労感と共に、働くことの大切さや楽しさを感じ取ってくれたことが伝わってきます。また、１年生に向けて「職業体験学習発表会」が予定されています。これからどうすれば伝わるかを考えて、まとめてください。









左から柏原警察署、給食センター、餃子の王将、国分小学校

３年生は「進路選択」を考えることで、高校などの各種学校へ進学したその先に、どのような仕事を目指していくのかについて考える機会があると思います。私たちが生活をするときに、そこには必ず人と人とのつながり合い、助け合いがあります。自分だけですべてのことができるわけではありません。つまり、自分ではできないこと、労力や時間を割けないことを、他の人がする。『仕事』に助けてもらうことで、私たちの生活は成り立っています。

なぜ僕らは働くのか…、　それは、助け合いでつくられるこの社会の一員になるためです。

右の写真は、図書室の本です。イラストが多く、わかりやすい本です。図書室にはこの本以外にも、『働く』事をテーマにした本がたくさんあります。一度覗いて、手に取ってみてください。

